

イチキ大工通信

NO.16

お問い合わせ

mobile:080 (1059) 1426

mail:info@ichiki-daiku.com

引っ越し後も作業をさせていただいています。引っ越し後1週間で、いろいろとまた形を変えてきました。玄関前にはウッドデッキの延長でスロープを作り、事務所の棚に何を置くか大体決まってから、棚のつける位置を決めて設置しました。

引っ越しの際に、コンロが新しいものではなく、驚いた方も多数いて、お声がけいただきました。当初家庭用のビルトインコンロで新調しようと考えていたのですが、先生から今まで使っていたものはまだ長年使っておらず使える、そして業務用なので火力も強くて使いやすい。とのことで、先生も大切に使用してくれていたため、五徳を新しい物にし、引き続き以前のコンロをできるようにキッチンの作りも合わせました！

建替えについて、いろいろ気になる点もあるかと思しますので、その際にはお声がけください！



引っ越し当日朝階段下の畳が入りました！



畳を作ってくださったのは、港南区の鎌倉街道沿いにある「有限会社 加藤畳店」さんです！

加藤畳店さんより、今回の畳について教えてもらいました！



「今回の畳の床は、藁床です。そして畳表、今回は無染土熟成畳表です。

畳表を作る際、通常『泥染め』をします。それによってきれいな青色と香りが出ます。

今回の表は、泥染めをしていない、い草そのもので織ったものです。更に、三年熟成させているので、色が全体的に落ち着いた色になっています。更に退色が通常よりもきれいに、遅くなる利点もあります。

なかなか市場にも出回らない畳表になっています。無染土なので、ハウスダストやアレルギーの子どもたちにも安心して使ってもらえます。畳の上でみんなが遊んでくれるのを楽しみにしています！」

とのことでした。一畳の畳に、こんなに思いを寄せて作ってくださり、とても有難い気持ちでした。



有限会社 加藤畳店
横浜市港南区日野7-4-13

ホームページ、Instagram、Facebookもあるので、見てみてくださいね！

業界誌掲載のお知らせ

今回の建て替え工事中に、左官吉田の吉田さんが、左官業界の雑誌である、工文社「建材フォーラム」の取材を受けました。吉田さんから取材の方に、こういった木組みで建てる、大工さんの仕事もアピールしてくださいね、というようなことを声掛けして下さり、市来も少し建物について、また学童建て替えに至った経緯についてをお話しさせていただきました。

吉田さんの丁寧なお仕事やこだわりがとてもよく伝わってくる記事でした。学童に一冊お渡ししますので、是非見てみてください。「工文社」ホームページ、雑誌のオンライン書店「Fujisan.co.jp」からのご購入もできます。お知らせでした！



引っ越し前の作業の様子

引っ越し前には、工事を進めつつも、木の部分（壁、床、造作家具など）に荏油（えごま油）、亜麻仁油などを塗りました。油を塗ることで、木に膜を張り汚れ防止となったり、木目にツヤが出ます。

板壁部分やキッチン天板、造作の棚、押し入れ、床など多くの場所に塗りました。

普段のお手入れの為に、私（市来母）の母親が作ってくれたぬか袋を学童へお渡ししました。無垢の床は水拭きもできますが、ぬかで毎日掃除することで、ぬかの油分によって木にツヤが出てきます。床だけでなく、柱や壁、玄関ドアなどの木の部分に使えます。早速子どもたちが掃除している姿を見かけ、大事にしてくれてとても嬉しいです！

そして、普通の住宅であれば、年に1～2回、荏油や亜麻仁油を塗ったほうが良いのですが、学童は多くの方が使っているので、3～4カ月に一度くらいで塗るといいかと思います。みんなで塗れば早いので、営繕の機会などを設けてできるといいですね！



押し入れの棚部分、キッチンの木部分、トイレの壁などの板壁などなど…様々な箇所に塗りました！



引っ越し前日に、クリーニングが入りました。清掃して下さったのは、移転先のクリーニングもお願いした、「株式会社 キャットハンズ」さんです。

移転先は下見が出来ずに清掃に入ったので、予想外の汚れで大変そうでしたが、夜遅くまで丁寧に清掃してくれました。いつも丁寧にクリーニングしていただいています。

床には、オスモというオイルを以前紹介した加藤塗装さんが夜までかかって塗ってくれました。最後まで皆さんに助けられた工事でした。